

教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 257

2005年 1・2月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111



第17回音としゃべりの金曜サロン
「初冬のクラシカル・コンサート」

Hohen Trio
井上 京 浅井崇子 八城崇幸
Musikus'

クラリネット、ファゴット、クラリネットによる
ホーエン・トリオ・ムジクス
のクラシカルな調べ

名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

新年を迎えて(福家俊朗名古屋大学生協理事長)	3
【特集】	
来るべき大地震に備えて	4
【企画】	
名古屋大学平和憲章制定18周年記念企画・憲法講演会 「今こそ憲法・教育基本法に根ざした教育改革を！」	13
初心・初級スキー教室のご案内	13
【報告】	
環境講演会・風力発電施設の見学報告 日本の高度な技術力で風力発電に期待	12
第17回音としゃべりの金曜サロン ホンワカと心に残る演奏会	14
「初冬のクラシカル・コンサート」の感想	15
りんごの産地見学「台風被害で3割出荷」	15
北部生協まつり・教職員委員会企画報告	16
教職員委員会の活動日誌	25
12月度理事会報告	28
【記事】	
投稿「2004年ベストテン・ワード」	17
新フィールドノート—その86—「照葉樹林の本場、宮崎」	20
魔言「単語の定義」「返事をしよう」	22
ひとりごと「APECの喧騒(サンチャゴ市内にて)」	24
かけはしの輪	26
アンケート・クイズ解答用紙	30
CO-OP QUIZ<Logic>	31
名古屋大学平和憲章(1987.2.5制定)	裏表紙

表紙のことば

12月3日、フレンドリー南部ホールにて「ホーエン・トリオ・ムジクス」による第17回音としゃべりの金曜サロンが開催された。今回はクラシックということなのか多くの参加者は得られなかった。私はクラリネットと聞くと映画「ベニー・グッドマン物語」を思い出してしまふ。10歳でクラリネットと出会い4年足らずで地元のダンスバンドで演奏したという。そしてカーネギーホールでコンサートを成功させるまでのこの映画を観てスイングが好きになった人もいると思う。今回の金曜サロンではクラシカルなクラリネットの調べを楽しむことが出来た。今年にはジャズを企画してみようかな。(みのうら)



Hohen Trio
第17回音としゃべりの金曜サロン
「音のクラシカル・コンサート」
クラリネット、ファゴット、クラリネットによる
ホーエン・トリオ・ムジクス
のクラシカルな調べ

新年を迎えて

名古屋大学生協理事長

福家 俊朗

組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。

名古屋大学をふくむ国立大学の法人化も二年目を迎えるようになっていますが、生協のあり方に影響する動きが見受けられます。たとえば、大学構成員の教育や研究そしてそのための福利厚生に不可欠な財源を文科省が十分には手当てしないために、総じてそれを「口実」に、大学施設の一部に

コンビニの出店を要請するような目先の「外部資金獲得」と「民間活力の導入」が一部の国立大学法人で進められようとしています。

大学という場で、組合員の高等教育・研究にふさわしい厚生福利要求に誠実かつ総合的に応えてきた生協の役割を、軽視することにもつながりかねないこのような動きは無視できません。私たちは、

「よりよい生活と平和のために」という名大生協が掲げてきた理念に照らして、名古屋大学においても財政事情等を理由にして同じ事が起こる可能性を、道徳と実績によって阻止しなければなりません。

その「よりよき生活」から

見て重視したいのは、昨年十一月に大学構成員に示された平野総長の「名古屋大学運営の基本姿勢」です。施設整備にかかわって、学生の福利厚生の充実のために毎年の授業料（二〇〇四年度は九二億円）の約一％を当てるようにする、と述べられている点です。具体的数値を掲げて、厚生福利施設整備の後退に歯止めをかけた点は評価して良いでしょう。その施設の運営や利用のあり方についてはなお不明なところがあるので、意見を出して行きたいと思えます。その意味では、名古屋大学学術憲章が言う「勇氣ある知識人」を広く輩出し続けるのにふさわしい環境に資する福利厚生の一端を担う名大生協の役割はこれまで以上に高

まるでしょう。

もう一つの「平和のために」にかかわって、総長の「基本姿勢」にも言及され制定一八年を迎えようとしている名古屋大学平和憲章を、学内外で生かしていくことが重要でしょう。直近には自衛隊のイラク派兵延長や新「防衛大綱」・新「中期防」にみられる平和憲法をないがしろにする動向に対抗して、幅広い国民の支持を得て広がっている「九条の会」の運動との連携も重要になってくるでしょう。本当の平和なくして、よりよい生活の実現もあり得ないからです。

今年は、生協が掲げてきた「よりよい生活と平和のために」というこの理念をいっそう鮮明にして活動する年にしたいと祈念しています。



来たるべき大地震に備えて

巨大地震災害から身を守るために、一人ひとりが、できることを着実に

飛田 潤*



飛田 潤 助教授

阪神・淡路大震災から10年

6500人もの犠牲者を出した大災害の経験から、官民上げた様々な防災対策がおこなわれ、また広く防災活動の高揚につながっていききました。しかし、実際に震災を体験していない多くのの人にとっては、過去のことになりつつあるかもしれません。

日本では全国どこでも地震災害に襲われる可能性があり、阪神・淡路大震災以降の10年間でも日本各地でいくつもの大地震が発生しています。10月23日に発生した新潟県中越地震は記憶に新しいところでしょう。この地震の周辺は多くの活断層があることが知られていましたが、住民はまさか自分たちの地域が大震災に襲われるとは思っていません。住宅の補強、家具の固定、非常食料などの準備は進んでおらず、「地震といえば次は東海地震だと思っていた」という話もありました。

来るべき大地震のすがたを的確に知り、準備すべきこと

を着実にやっていくことが大切です。そのために、一人ひとりが知り、考えるべきポイントを見ていきましょう。

60年 東南海地震・三河地震から

私たちの住む東海地域は、過去に多くの地震の被害を受けています。ちょうど60年前、1944（昭和19）年12月7日に東南海地震が発生し、東海地域は激しい揺れと津波に襲われ、静岡県、愛知県、三重県などで12000人の死者行方不明と2万棟以上の全壊家屋が出ています。さらにその一月後、1945（昭和20）年1月13日には三

河地震が発生し、西三河地域を中心に死者2300人の大災害に続いて襲われていきます。この頃は運悪く太平洋戦争の末期にあたり、昭和19年12月は名古屋大空襲のあったときでした。軍需産業の中心である名古屋周辺の地震被害は国内でも報道されず、被害を受けた住民も戦争の記憶や戦後の生活の苦しさなどのためか、これらの地震による貴重な教訓は地域に十分に受け継がれないままとなりました。しかし、このときの災害の様子は、近い将来に東海地域を襲う大地震のすがたを示してくれるものであり、私たちにとつて神戸から10年と同様に「東南海地震・三河地震

*飛田 潤（とびた・じゅん/環境学研究科/災害対策室）

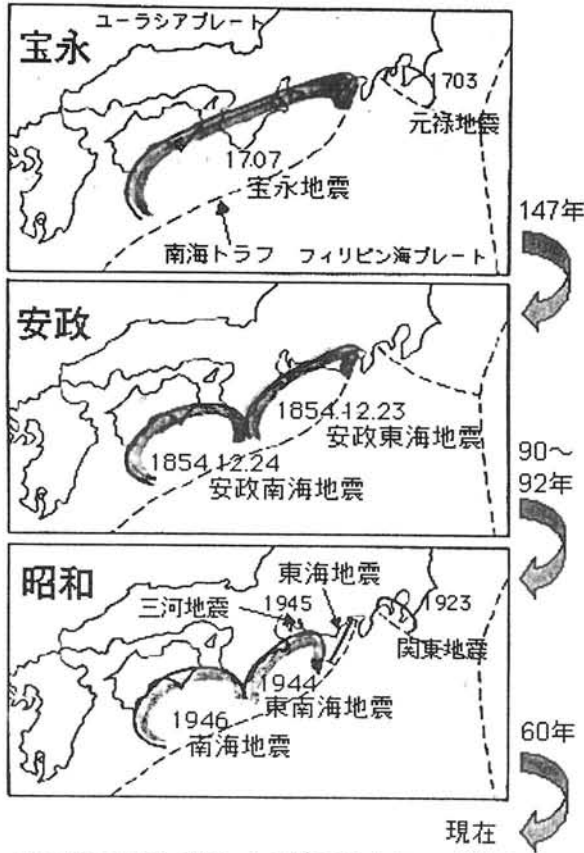


図1 繰り返し発生する南海トラフの地震

から60年」は重要なことといえます。

海の地震三兄弟

東海地震・東南海地震・南海地震は、ユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込むところ（南海トラフ）で発生する地震で、過去には100年前後の周期で繰り返し発生してきました（図1）。その発生の様子をさかのぼると、これらは兄弟のよう

に仲良く（？）同時に発生したり、短い間隔で順次発生したことが知られていません。先ほど紹介した1944年の東南海地震のあと、1946年12月21日には南海地震が発生しています。これらの昭和の地震では一番東側の駿河湾付近が地震を起こさずに残ってしまったため、ここを東海地震と呼んで、いつ起きてもおかしくない、と言われることになりました。しかし、駿河湾の東海地震だけが別に発生した例は、その前の歴史には見当たりません。一

巡前は1954（安政元）年で、12月23日に東海と東南海が同時の安政東海地震、約32時間後の12月24日に安政南海地震が起こりました。さらにもう一巡前は1707（宝永4）年10月28日で、三地震が同時に発生した巨大地震であったと考えられています。

（なぜか地震三兄弟は12月に起こることが多いのは不思議なことです。また宝永地震は、あとで説明する濃尾地震と同じ日というのも不思議な一致です）

私たちが古文書や調査から知ることができるのは1500年程度でしかないのです。その間にないからといって駿河湾の東海地震が決して起こらないとは言えません。しかし、昭和の東南海地震から60年がたち、そろそろ次の東南海地震と同時に発生する可能性も考えなければいけなくなっています。昭和東南海地震が規模が小さめだったため、次は平均的な間隔よりも早まる可能性がある、という研究結果もあります。文科省

の地震調査研究推進本部がまとめた今後30年間に発生する確率では、東南海地震が50%、南海地震が40%、東海地震は東南海地震と連動するかわかりませんが、単独で36%、連動の可能性を考慮すると80%以上となっています。

予知はできるか

駿河湾の東海地震が発生することを考えて、その被害を食い止めるために1978年に大規模地震対策特別措置法が作られ、東海地震の強化地域（著しい地震被害が生じる恐れがあるため、地震防災対策を強化する地域）を指定して、20年以上にわたり対策が行われてきました。地震予知を目指して観測体制が整備され、東海地震は「地震予知ができるかもしれない」唯一の地震といえます。地震発生前の地盤の変形などの前兆現象を捉えることができれば、「警戒宣言」を出して被害を減らす対応をとることになっており、近年も観測・分析技

術の向上などが図られていま
す。

しかし一方で、それでも地
震発生前に警戒宣言を出せる
可能性は必ずしも高いもので
はないとも言われています。
さらに東海地震以外の地震で
は基本的に予知の体制があり
ません。予知を前提として、
危険な建物からは外に出て待
機するという考え方だけで
は、突発的に発生する地震の
被害を減らすことはできない
ということ です。内閣府中央
防災会議が2003年の東海
地震対策大綱で、基本的に建
物が十分な耐震性を持つよう
に改修する方針を打ち出して
きたことは重要です。これに
より東海地震の死者を500
0人減らせる、という試算も
示されています。

警戒宣言を出す手続きなど
も見直され、2004年から
は、観測情報、注意情報、警
戒宣言といった3段階で情報
を公開することになっていま
す。信号で言えば青、黄、赤
信号に対応します。警戒宣言
が発せられると、交通機関の

停止により大勢が帰宅できな
くなるなど行動が著しく制約
されるので、その前の注意情
報が発表された時点で組織の
対応を決めていることが一般
的です。たとえば名古屋大学
は、注意情報が出た時点で授
業等を中止して帰宅すること
になっています。

どんな被害になるか

従来、東海地震の被害の中
心は静岡県と考えられてきま
したが、最近の研究により震
源は考えていたより西に広
がっていることがわかり、豊
橋など東三河も震度6強以上
に達することが予測されてい
ます。これに基づいて、20
02年には東海地震の強化地
域が西に広げられ、名古屋市
を含む愛知県の56市町村が新
たに指定されています（以前
は新城市のみ）。東海地震が
単独で発生すれば、名古屋市
内は震度5強から一部で6弱
程度の揺れと予測されていま
す。

しかし、愛知県にとって

は、東海地震と東南海地震が
同時に発生する方がはるかに
被害が大きくなります。愛知
県の被害予測では、最悪で死
者2400人、全壊家屋10万
棟にも上るとなっています。
名古屋市内の予想震度は、北
東部で震度5強、中心部はほ
とんど6弱、西部では6強に
達するところもあります。震
度6を超えると建物の被害が
目立ち始め、6強になると急
激に増加することが地震調査
から知られています。

さらに広域に目を向ける
と、東海・東南海・南海の三
地震が同時に発生する最悪
ケースの予想を内閣府中央防
災会議が行っており、静岡県
から四国まで西日本一帯で死
者2万5千人、全壊家屋90万
棟、被害総額81兆円、被災者
は約4000万人とされていま
す。死者は阪神・淡路大震
災の数倍、全壊は10倍、被害
額は国家予算のオーダーに達
し、国民全体で被害を減らす
努力がないと大変なことにな
ることがわかります。昭和の
東南海地震が終戦間際、安政

の東海・南海地震は幕末な
ど、政治・社会・国家の大き
な転換にこれらの巨大地震
が関係することは十分ありえ
ます。

政府は、東南海・南海地震
の推進地域（著しい被害が生
じる恐れがあるため防災対策
を推進する地域、東海地震の
「強化地域」とは別）を21都府
県652市町村に対して指定
しており、愛知県では北東部
を除く78市町村が含まれま
す。

活断層も怖い

海で発生するプレート境界
の地震の他に、プレート内部
の岩盤が破壊する活断層の地
震もあります。新潟県中越地
震、阪神・淡路大震災を引き
起こした兵庫県南部地震、そ
して三河地震などは活断層に
よる直下型の地震です。18
91（明治24）年10月28日に
岐阜県で発生した濃尾地震
は、これまでの最大級の活断
層の地震で、死者7200
人、全壊家屋14万棟の大災害

であり、名古屋を含む愛知県でも大きな被害を出しました。このような活断層の地震は、地震全体の規模は海の地震よりは小さくても、都市の真下で起こる直下型のため狭い範囲でひどい揺れとなり、震度7に達することもあり、都市・建物や人命に対して甚大な被害になります。

一つの活断層は海の地震よりずっと長い間隔で数千年に1回程度活動するだけです。東海地域は活断層が多数存在し、さらに知られていない活断層もあります。危険性の高い活断層の調査も進んでいますが、具体的につきにどの活断層が地震を起こすかはなかなか予測できず、時期もわかりません。

海の大規模地震が発生する前後数十年は、活断層の地震も活発化することが過去の記録から知られています。三河地震はまさに東南海地震の直後に発生していますし、1948年には福井地震もありました。その後1950年代から50年近くにわたって、西日

本は地震の少ない静穏期でした。これがちよつど日本の高度成長期にあたり、西日本では地震が起こらないと言う錯覚も生みました。しかし兵庫県南部地震以後は西日本で活断層の地震がいくつかが発生し、地震活動期に入ったというような表現もされていきます。これが海の地震三兄弟の発生が近づいたことによるのかもしれない。

建物の安全性

阪神・淡路大震災の死者のうち、9割以上が倒壊した建物あるいは倒れた家具の下敷きによる圧死、または下敷きで逃げ遅れた焼死でした。休日の翌早朝のため自宅で就寝中の人が多かったことを考慮しても、建物の倒壊や室内の危険が死傷者の大きな原因であることは確かです。つまり、来るべき巨大地震の被害を根本的に減らすためには、建物の耐震化が重要なポイントになります。

神戸で倒壊した建物を調べ



図2 神戸と新潟の古い木造住宅の被害(どちらも2階建ての1階が完全に倒壊している)

ると、木造住宅では老朽化したものがかんりの割合を占めています。また、瓦で屋根が重く、1階の壁やすじかいが少ないものや、壁の配置が偏っているものが倒壊などの致命的な被害を受けています(図2)。重い建物は地震による水平の力を大きく受け、一方、壁やすじかいはそのような水平の力に耐える構造です。昭和56年以降は耐震に関する基準が厳しくなっており、壁の量や配置が指定され、柱と梁を固定する金具も使用されることなどにより、これ以降の新しい建物は倒壊などのひどい被害を受ける可能性が低くなっています。

1980年以前の建物がすべて弱いわけではありませんが、それをきちんと調べるためには耐震診断が必要です。愛知県と市町村は補助金を出して、基本的に無料で木造

住宅の耐震診断を受けられるようにしています(1980年以前の木造住宅が対象)。また、耐震性が著しく劣る結果が出た住宅に対しては、耐震改修を行う際に最大60万円の補助も出しています。

鉄筋コンクリートなどのビルも同様に、1981年以降の建築基準では耐震性が大きく向上しており、被害率が低いことが知られています。愛知県や名古屋市は、1980年以前の公共建築物の耐震診断を進め、結果を公表するとともに重要な建物で耐震性が不足する場合は補強を急いでいます。民間建築物でも、不特定多数が出入りする建物に關しては、十分な耐震性を持つよう耐震診断・補強が義務づけられています。

建物の耐震性がいざというときに命に直結することを忘れずに、耐震診断・補強の実施や、賃貸ならば安全性の高い建物を選ぶなど、十分な配慮が必要です。普通は誰もが、家は壊れるかもしれないとは思っても、自分や家族が

死んだりケガをしたりすると思つていませんし、思いたくないものです。来たら来たときのこと、では済まされません。

部屋の中の危険

震度6以上の揺れとなれば、たとえ建物が倒壊を免れたとしても、部屋の中はメチャメチャになります。特に、たんすや書棚など高さのある重い家具の下敷きになったり、テレビや電子レンジなどが飛んできて当たれば命にかかります。重い照明器具、ガラスのある家具なども同様です。また、運良く直撃を避けても、散乱した室内からスムーズに避難することは難しく、ガラスが割れば素足ではケガをするし、夜間で停電すれば歩くだけでも困難になります。

このような被害を減らすためには、特に寝る際には大きな家具のない部屋とする、倒れる家具は壁にしっかりと固定する、あるいは作りつけ家具

にする、ガラスは破損・飛散防止対策をし、食器棚などは中の割れ物が飛び出さないように扉を固定する器具をつける、照明は揺れて壊れやすいペンダントではなく固定式とする、などいろいろ考えられます。

特に大きな家具の固定は重要ですが、面倒でやっけない人が多いと思います。また正しく固定しないと気分だけになりかねません。壁に木ねじで固定する場合は壁の裏側に角材のある所を選ばないと抜けてしまつて役に立ちません。アパートなどでねじの使用を禁止されている場合でも、安全のためであることを理由に交渉することなど、できることはあります。家具と天井の間に挟んで固定する器具は、天井がしっかりといて締め付けが十分でないと効かないこと、最近注目されている粘着性のマットで固定する場合は、十分大きな面積で貼ること(高価だがケチると効果が無い)なども重要です。

非常時の備え

あなたの家ではどのような防災対策をしていますか、というインタビューで、非常持ち出し品をそろえ、食料と水を備蓄しています、という答がよくあります。新潟県中越地震のあと、これらを購入した人が大勢いたことも報道され、防災対策Ⅱ食糧備蓄と思つている人もいそうです。確かに、非常に重要なことですが、生き残らなければ何の役にも立ちません。また、持ちだし品や食料は、個人や家庭の状況により異なる部分もあり、お仕着せのセットだけでなく、本当に何が必要かを考える必要があります。せつかくですから、家族と一緒に買い物をして必要なものをそろえたり、非常食料も乾パンだけでなくて、おいしそうなものを選んで実際に食べてみる、といったように、楽しみながら実的な準備をすることをすすめます。

大学はどうなる

さて、自分の家と同様に多

くの時間を過ごす大学は、大地震の際にどうなるでしょうか。まず建物について、大学内は必ずしも新しい建物ばかり

りではなく、比較的古い建物も使用せざるを得ません。これらの耐震性については、1980年以前のある規模以上

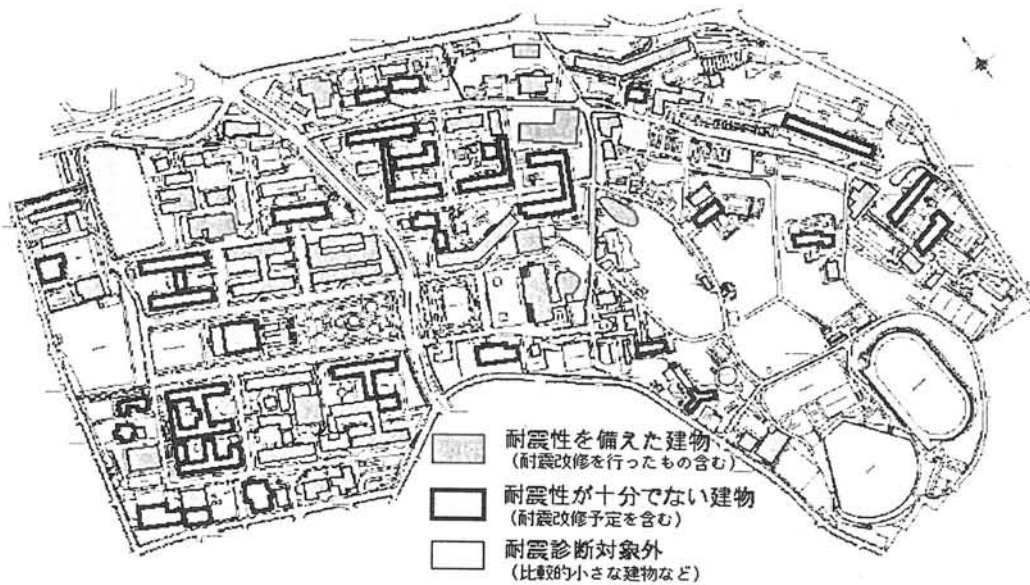


図3 東山キャンパスの建物の耐振性

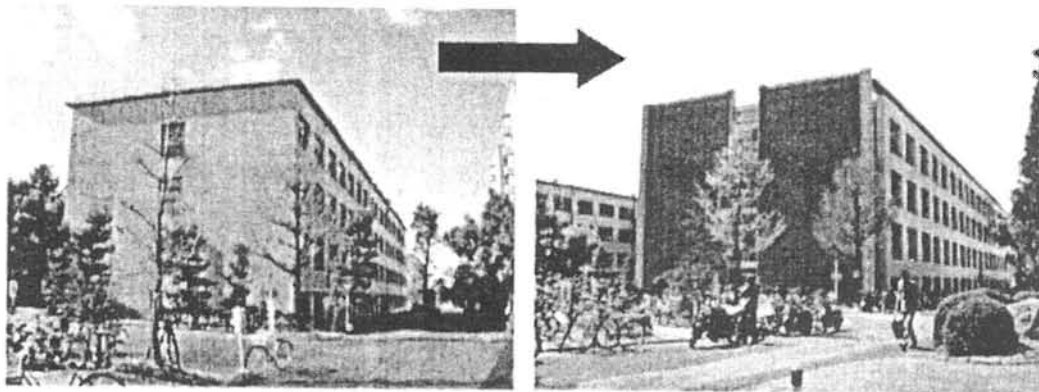


図4 耐震改修の例 (工学部2号館)

の建物ですべて耐震診断が行われており、耐震性が十分でない建物もわかっていきます(図3)。これらは震度5強〜6弱程度では必ずしも倒壊には至らないですが、東海地震の注意情報発表後はこれらの建物内にとどまらないこと、また突発的な地震発生の際には速やかに避難することが求められます。これらの建物の改修・補強は計画・予定されつつあります。長い期間が必要になります。研究教育環境の安全は大学の基盤です。で、継続的な整備が必要と考えられます(図4)。

大学内には一般家庭にはない様々な危険物があります。化学薬品やガスなどは、地震により破損・漏出すれば火災・爆発・中毒などの事故に至るものが少なくありません。大型の実験機械は転倒したり、キャスターで動いたりすれば、下敷きなどでけがにつながります。これらの安全対策は予算措置も含めて計画的に行うべきものといえます。

文系の研究室では、書籍や書棚の落下転倒も問題になるでしょう。一般の研究室でも机、書棚、ロッカーなどが高い密度でしかも雑然と置かれていて、いざというときにけがをしたり避難できない状況もあり得ます。廊下に落下・転倒の危険があるものを積み

上げたり、非常扉の前にまで機材を置く例もしばしばありますが、消防の査察を待つまでもなく、理由によらず直ちに改善すべき点です。(図5) 様々な場所にいるときに大地震に襲われたことを想定してみてください。たとえば、教養棟の4階で講義中だった



図5 身近な危険

ら、生協食堂で食事中だったら、実験室で化学実験中だったら、夜間に一人で仕事をしていたら、通勤・通学途中、家にいて大学の様子が気がかり、学生の安全は、そしてその時自分のすべきことは何か。学生か教職員か、立場によってももちろん異なります。日頃から何が起こるかイメージし、それに対する準備ができていなければ、実際の緊急時に突然できるようなことはありません。

地震防災マニュアルと訓練

このようないざというときの対応とその準備は、個人だけでなく組織として行うことが求められます。東海地震の強化地域内の事業所にはすべて地震防災応急計画の提出義務があり、名古屋大学地震防災計画が作成されています(災害対策室のウェブページをご覧ください)。内容は大きく分けて、地震発生時の対応(東海地震の注意情報発表・警戒宣言発令時および

地震後の復旧を含む)と、地震に対する日常の備えの二部構成になっています。これらに基づいて、各部局・組織の実状にあわせた具体的な地震防災マニュアルの作成を推進しています。

マニュアルというと、個人の判断を排して一方的にやることを押しつけられるようなイメージもありますが、それは部外者が作ったものを使うからです。組織の現状を良く知っている構成員が、自ら災害時の状況をイメージし、必要なことを抽出して、分担を考えてまとめることにより、自分たちの役に立つマニュアルを作っていくことが必要です。

マニュアルだけ作っても十分ではなく、実際に試してみる訓練が必要です。昨年度から大学全体で地震防災訓練を始めています。設定としては、勤務時間内に、東海地震の注意情報が発表されたことを全構成員に至急伝達し、対応行動を開始するもの、突然強い地震に襲われた時の避難

と安否確認などを行うものの二通りが行われました。このほかにも、勤務時間外で注意情報・警戒宣言が出た場合や、突発災害の場合も検討しておく必要があります。

避難と安否確認は、これからの検討を要する点多々あります。避難については、全構成員が実際に避難する訓練が可能か、具体的にはどう移動するか、帰宅できない場合の対応、非常食糧の備蓄（もちろん各自準備が原則）などがあります。安否確認については、阪神大震災のとき神戸大学は学生の安否確認に膨大な労力をかけました。電話は災害直後は輻輳するので使えず、また安否確認のためにかけることでさらに輻輳を助長する可能性もあります。むしろ各自が自分の状況を大学に伝えることが原則で、そのための仕組みを整備することが考えられます。

上手くやる訓練ではなく、問題点を抽出して次につながる訓練を積み重ねていきたいものです。

地震以外の災害にも

東海地域は、1959（昭和34）年の伊勢湾台風（災害イメージが非常に強く、さらに2000（平成12）年9月の東海豪雨、最近は集中豪雨や台風による豪雨災害も受けています。地震と異なるのは、程度の差はあれあらかじめ気象に関する情報が得られることです。気象情報の収集・伝達が行われ、適切な対応をとることができれば被害はかなり防ぐことができます。気象警報発令時の対応などについて、大学内でも検討と整備が行われていますので、各々確かめておくことが必要です。災害対策室ウェブページでは、安心帰宅情報として、さまざまな気象情報へのリンクをまとめて提供しています。

地域社会のために

伊勢湾台風は濃尾平野周辺に大災害をもたらしました。

このとき、名古屋の大学生が団結して災害ボランティア活動を行っています。阪神・淡路大震災から今年度に多発した台風水害など、いまでこそ災害ボランティアの活動は活発になっていきますが、半世紀近く前から名古屋の大学にはそのような活動があつたのです。

この組織は、今でも大学間の連絡体制が残っていて、名古屋大学が幹事校になっていますが、組織的な活動は行われていないのは残念なことです。一方で、今年の水害や中越地震の復旧ボランティアに名古屋大学の学生も参加しており、意志を持った学生（もちろん教職員も）が増えることを期待したいと思います。学生は地域とのつながりが薄いことも多いですが、地域社会の一員としての大学が何ができるかを考えるとき、学術的な面だけでなく、若者の意志と力も重要なポイントといえるでしょう。

まとめ

近い将来に必ず発生する巨大地震災害を乗り越えて大学が責任を果たすためには、至急かつ着実な備えが必要です。あすかもしれないが、10年・20年先かもしれない。そのためには、「来るべき大地震」のすがたを明確にし、それに対応するための意識を高め、一人ひとりが、また組織としてできることを、短期・中期・長期的な観点で計画的に実行していくことが求められていると思います。

地域防災交流ホール／災害アーカイブ環境総合館4階、平日8時30分～17時開室

* * * * *

本稿は、「かけはし」編集委員会への求めに応じて、環境学研究所 飛田 潤助教授に寄稿していただいたものです。飛田先生に深謝いたします。

（編集委員会）

日本の高度な技術力で

風力発電に期待

教職員委員会では昨秋に環境特集として環境講演会とフィールドワークを行いました。

環境講演会は「風力発電の現状と将来」と題して工学研究科機械理工学専攻の菊山先生にお願いし、10月28日夕方、IB電子情報館の講義室をお借りして行いました。

風力発電の特徴は賦存量が無
限、クリーンなエネルギー、風
まかせ、エネルギー密度が低い
などがあげられます。年間の平均
風速が6 m/sで既存の電源と十分

風力発電への期待を熱く語る菊山先生

競合が可能です。風力発電
先進国、ヨーロッパでは2
004年度累積で4030
0 MWの容量
でこの数字は
ヨーロッパの
1900万世
帯の需要を満

たしています。日本では99年度
8・3万KWですが2010年度
には300万KWを目標にしてい
ます。風力発電の歴史はミル(粉
ひき)として発達してきました。
その後、多翼型、4枚翼型などの
ウインドタービン型を経て19
72年のオイルショックや地球
環境問題が大きくクローズアッ
プされ原子力発電事故の恐ろし
さなどから代替エネルギーとし
て研究・開発されてきました。
風車を取り出しうる最大のエ
ネルギーは理論的に約60%です。
日本とドイツを比較してみると
90年当時ドイツは10万KW、日本
は2・3万KWでしたが10年後の
2000年ではドイツは700
万KWと70倍以上増加し大型原電
7個分に相当します。一方日本
は8万KWと失われた10年間に90
倍の差がついています。
今後の課題としては発電コス
トの競争力強化、日本独自の技
術開発(山が多い地形、台風、落

雷が多い)サイト開発(規制が多
い)、風況ソフト開発、企業育成、
系統的な連携技術の強化などが
あげられます。欧州風力エネル
ギー協会(EWEA)では202
0年までに世界の電力需要の12
%を風力発電によって供給する
目標を立てています。洋上のウ
インドファームの開発も大きな
課題です。周りが海という点を
利用して大規模、大型化、騒音問
題解消など高風速な風力発電が
できますが、コスト面での欠点
も多いのが現状です。それでも
日本は高い高度な技術と開発力
で欠点を克服してクリーンなエ
ネルギーを供給していかなくて
はならないと感じました。
次に11月3日、文化の日に久
居市の青山高原にある風力発電
施設を見学にいきました。絶好
の晴天の下、東名阪から
車2台で行ってきました。
笠取山(842m)には久
居市所有の風車が4基、
(株)青山ウインドファーム
が20基設置されていて壮
観です。ここは年間の風
速、高圧線に隣接、装置の

運搬に必要な道路があり、風力
発電に最も適した場所です。

風力によって半径50mの羽根
を軸方向に回転制御し、揚力を
コントロールして発電量をコン
トロールしているのがよくわか
りました。近くで見上げると自
分が動いているような錯覚に何
度もとらわれます。ゆっくり
回っているようですが、羽根の
先端は見えないくらいの周速度
ですごく大きいのを実感します。
是非機会があったら見に行つた
り、伊勢方面からの帰りにでも
寄つてくるといいと思います。
自然のエネルギーはすごいもの
だと実感できます。

参加者はこのあと遅い昼食を
とりながら交流し、榊原温泉に
入って秋を満喫しながら帰つて
きました。



青山高原にそびえ立つ風車

名古屋大学平和憲章制定18周年記念企画 憲法講演会

今こそ憲法・教育基本法に根ざした教育改革を！

今、日本国憲法と教育基本法を変えようという大きな動きがあります。憲法を変えようとする人たちの狙いは、日本を、戦争のできない国から戦争のできる国へ大きく変えることにあります。

戦争に加担する教育や研究をしないと平和憲章で誓った私たちは、憲法改定で再び戦争に加担させられる可能性もでてきました。

このような時期に、もう一度、日本国憲法と教育基本法について学び、大学の教育と研究の指針として平和憲章を位置付け直すことに確信を持ちましょう。

日時：2月2日（水）18:00～

場所：I B電子情報館中棟1階011講義室（I Bカフェの横）

講師：植田健男教授（教育発達科学研究科教育科学専攻）

参加費：無料

○講演終了後、講師を交えて感想交流会を
I Bカフェにて行います。

交流会参加費用：500円

軽食と飲み物を取りながら

交流しましょう。

初心・初級

スキー教室のご案内

—冬だ！スキーだ！滑り隊！—

スキーをはじめたい人、お子さんにスキーを教えたい人、少し上の技術を身につけたい人大集合。親切丁寧なコーチ陣があなたを手とり足とり教えます。

日程：2005年2月10日（木）夜発～13日（日）

行き先：岐阜県郡上郡高鷲村のスキー場

集合場所：名古屋大学博物館西

集合時間：20時00分

参加費：20,000円

10,000円（小学生）

レンタル：板、靴、ウェアは実費

定員：10名程度

宿泊：貸別荘（食事は自炊します）

申し込みは：E-mailまたはクイズ解答用紙をご利用下さい

問い合わせ先：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

企画：名大生協教職員委員会



第17回音としゃべりの金曜サロン

「初冬のクラシカル・コンサート」 ホンワカと心に残る演奏会

12月3日に第17回「音としゃべりの金曜サロン」がフレンドリー南部において開催した。今回はクラリネット2本とファゴットによるちよつとクラシカルなコンサートになった。グ



ループ名は「ホーエン・トリオ・ムジクス」と言う3人の「たか」が付く名前からとられたそうである。主に名フィルを中心に活躍されている。参加者にはワインなどの飲物と生協食堂が準備した松花堂弁当をとっていた。前回はクラシックの有名曲から「ジョン・ドバンニ」フィガロの結婚」の曲を物語を説明しながら演奏された。リーダー格の井上京（たかし）さんからあとの二人の浅井崇子さんと八城崇幸さんが夫婦であること、偶然にもお二人に「崇」という字が使われていること、オーストラリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学に留学中に出会ったこと、浅井さんが一番弟子で優秀なこと（昨年の11月末に行われた日本管打楽器コンクール）の管楽器部門で3位入賞

などが演奏の合間に話された。

19時から15分ほど休憩し、その中でファゴットの意味（薪「まき」）や細い管をのぼすと2m以上になること、管楽器の中で一番低い音が出ることなど、また、今回の編曲は八城さんがすべて行った。管楽器は短音しか出ないので、3人だと3つの音しかなく、音を重ねるのが一苦労でもあり、それを工夫をしながら編曲するのも楽しみのことでした。

後半は一転して皆さんが知っているポピュラーな曲やクリスマスメドレー、最後にアンコール曲として昨年一番話題になった韓国のテレビドラマ、「冬のソナタ」のテーマ曲を演奏していただきました。日頃忙しくてCDなどを聴くことはあつて

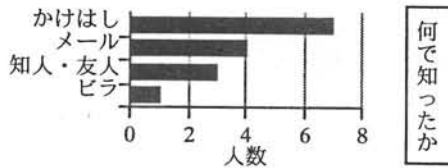


もなかなか生のコンサートには行く機会がない。改めて音楽は生で聴くのが最高と感じた。

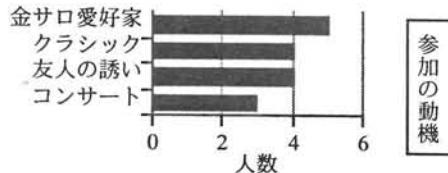
東海地区で活躍されているプロのミュージシャンを大学に招いてのおしゃべりを交えたこの企画も17回を数える。今後も年1回のコンサートをやっていきたいと思しますので、是非どなたを招いてほしいかなどの提案もお願いします。

第17回音としゃべりの金曜サロン「初冬のクラシカルコンサート」感想(10人分)

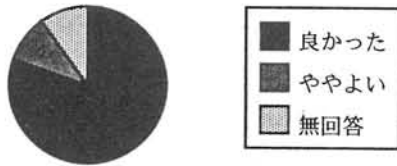
1. 企画を何で知ったか



2. 参加の動機は



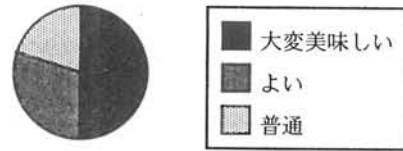
3. コンサートについて



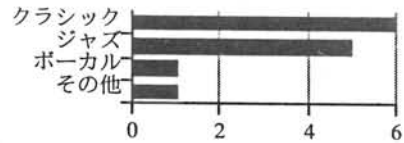
◎特に後半がよかった。ファゴットについて初めて知った。いろんな解説(おしゃべり)が大変よかった。

◎演奏前のお話がとてもよかったです
○場所が...反響は思ったよりあったんで良かったですが無音、極小音の迫力が出ませんでした。
CIの最低温はどれくらい？

4. 料理について



◎Volumeが多い。
・演奏を邪魔しないのは良かったです
5. 次回の希望



6. 金曜サロンや教職員委員会に一言
・食事(料理)は必ずしも要らないと思う。演奏中に食べるのは、ちょっと気がひけるし、集中できない。ワインとコーヒー、紅茶だけでいいと思う。
・いつも楽しみにしています。これからもずっと金曜サロンが続くことを願っています。お世話様です。
・次も企画をお願いします。
・ご苦勞様です。今年は忙しく参加できないかと思っていました。今回のワインはとても美味しかったです。

Fエース生協りんごの産地見学 台風被害で3割出荷

11月23日、快晴。朝からポカポカとした日で、なかなか寒さの訪れない変な気候である。9時博物館西駐車場に集合した参加者は11名で、2台のワゴン車に分乗して一路Fエース生協りんごの産地長野県松川に向かう。

中央道松川インターを降りて県道を南下するとすぐ農家の看板が見えてくる。目的の奥村農園を探してお昼前に到着。早速リンゴの実る木の下に案内され用意していただいた2種類のリングと洋梨ル・レクチエを酸味のある順に食す。

奥村さんは今年のリんごの生産状況について話し始めた。台風の上陸回数が非常に多かったが直接落下の被害はなかったものの山で木の実がなくなったことにより山の鳥が下りてきて実ったリングを上からつかれて大変な被害にあったと嘆いていた。この時期まだ多くのりんごが成っているが9割は鳥害によるものでこれほど出荷できない年はないそうである。全体

の製品化率は3割でめいぎん生協からも問い合わせは来るけど、出荷できる物がないと応えざるを得ないという。そういう年もあるとある程度リスクは覚悟はしているといい、来年の花芽がいつばい出ている枝を見ながら来年への期待を膨らませているようだ。

帰りに参加者それぞれりんごや洋梨を買い込んで段ボール箱に詰めてもらい皆で10数箱くらい買い込んできた。途中遅めの昼食を食べにレストランによる。このレストランでは何を注文してもその素材が大きく一同驚いてしまった。美味しくてビッグサイズの食事でお腹をいっぱいにして次の温泉に向かう。伊那谷温泉・満願成就の湯は昼でも満員のお客で賑わっていた。

ゆつくり温泉につかつて来たので名古屋に着いたのはもうすっかり暗くなっていた。



美味しいリングを食べる参加者

北部生協まつり 教職員委員会企画報告

第32回生協まつり献血結果 82名のご協力ありがとうございました。

今年は受付された方が96名と毎年減少傾向にあります。午後授業のない水曜日の方が多ようです。受付段階でお断りされた方は薬の服用中と貧血などによるものです。400ml献血者は名大生の場合74%と多いのが特徴です。2日間で82名のご協力をいただきました。

献血結果 ()内は 昨年実績	受 付 者 数	献 血 者		
		200ml	400ml	200ml 換算
12月8日	55(70)	15(11)	32(42)	79(95)
12月9日	41(62)	6(8)	29(41)	64(90)
計	96(132)	21(19)	61(83)	143(185)

映画上映会

「ラスト・サムライ」に12名参加

まつりをお店で盛り上げようとトム・クルーズの今年の話作を夜の営業のないゆ〜どんで上映しました。食堂から食事を持ち込んで夕食を取りながら鑑賞された方もみえとても喜ばれました。

Fエース産直リンゴは25箱販売

めいきん生協と産消提携している長野県松川の省農薬Fエースリンゴの産直販売は予定数25箱を3日間で完売しました。

赤ちょうちん

12月9日(木)午後5時30分開店の赤ちょうちんをゆ〜どんで開催。参加者は23名とちょっと少なかったです。チケットを購入されても当日仕事でこれない方がいてその分を職場に持ち帰るお友達がみえるなど法人化と年末とで大学事務の多忙さを感じました。赤ちょうちんも冬のまつりの定番となり、和気あいあいと楽しんでいただきました。今年の赤ちょうちんは新潟県中越地震災害救援を謳ったこともあり5%引き券を使わずに利用される方や義捐金になるならと他の参加者に大盤振る舞いされる方もいるなど盛り上がりしました。留学生委員会によるタピオカ入りミルクティーも23杯を早々と完売しました。赤ちょうちんの利益11771円と産直リンゴ販売利益16950円を併せて新潟日赤を通して被災地に送りました。ご協力ありがとうございました。

映画「ラスト・サムライ」 参加者の感想

参加者は延べ12人ほど。

最後までいた参加者の感想(8名分)

①この企画をなんで知りましたか

かけはし(4)、ポスター(3)、友人(1)

②参加の動機は

映画好き(5)、作品に惹かれて(3)

③作品について

○とても感動しました。戦闘シーンは

すごい迫力でした。外国の映画だけ

ど日本人以上に日本のことを理解し

ているように思えました。(学生A)

○映画館でも見ましたが何度見ても心

が熱くなる映画だと感じました。見

に来てよかったですと思います。どうも

ありがとうございます。(学生B)

○やはりラストに感動しました。

(HIKOTO)

○とてもいい映画だと思えます。

この歴史は本当に知りたい。

(りゅう)

○「和」 (林勇吾)

○途中からだが迫力があつた。(中澤)

○現代の日本人に欠如しているように

思われる「侍の心」に触れられたと

思うので、貴重な経験になると思

います。(学生C)

2004年ベストテン・ワード

全学技術センター 河合利秀

あわただしく過ぎ去った2004年。僕の耳をくすぐった10の言葉を思い出して、2004年がどのような年であったかを振り返ってみた。

『たかが選手の分際で』

最も印象深かったのは『たかが選手の分際で・・・』である。ご存知渡辺恒夫巨人軍の元オーナーであり、読売新聞社の社主でもある。氏が言わんとしたことは「たかが社員の分際で・・・社主に盾つくとはケシカラン」という語調であり、日本中のサラリーマンがこの発言に経営者の傲慢を看過し、人間性を疑った。その結果は野球ファンのみならず、日本中の「働いている人」が選手会を応援し、『ストライキ』を支持したのである。

『ストライキ』

渡辺恒夫氏は、永らく死語となっていた『ストライキ』を復権させるきっかけを作ったことで、間違いなく昨年のMVPであろう。これが昨年の流行語10選に選ばれなかったのは不思議としか言いようがない。

本来ならば緊張関係にあるはずの企業と組合が「協調路線」で馴れ合い、闘うことを忘れた労働組合に『ストライキ』という言葉はもはや必要ないものとなった。

しかし、世はリストラの嵐である。理不尽な首切りに抵抗しない労働組合では、働くものの権利がどんどんなくなつて、労働者同士が競争を強いられ、会社に残るためには自己犠牲をいとわないという生き方しか選択の余地はない。

長時間のサービスマン、単身

赴任、目先だけの成果主義、能力

と体力の使い捨て、自由に物のいえない職場の空気・・・こんな企業には法律を守ろうとする姿勢もなく、儲かればそれが脱法行為であつても成果となる。そしてそんな輩だけが出世する。

社会正義を貫こうとする社員には生きにくく、内部告発したら職を追われ、はてはホームレスになりかねないのが今の日本の企業体質である。

このような時代に、堂々と正論を主張し『ストライキ』によって目的を達した選手会は「立派」の一言に尽きる。結束して闘えば、ひよつとして俺たちの会社も変えられるかもしれない・・・と、密かに思った人も多かろう。

『人生いろいろ』

この時、小泉純一郎の国会答弁に、日本中の人々が唖然とし、

いやなものを聞いてしまったという感傷を抱いたに違いない。でこの悪い宰相をもつた国民が哀れなのだが、改革という言葉に一縷の望みをかけていた人々も、この言葉を聴いてガックリきてしまった。

庶民感覚では全く理解できないばかりか、真面目に働く人々を愚弄する響きに、最後の望みを絶たれ、途方にくれる国民の悲しみを、小泉氏は知ることになるだろう。

戦後最長政権という驕りが、醜い言葉を引き出したのだから、小泉改革で彼が実現したところといえば、弱いものいじめの何者でもない。

だいたい、どこの社長だか覚えてもない人から多額の政治資金を受け取り、社員扱いで社会保険を肩代わりさせていたなど、庶民感覚では全く理解できない話だ。

いい加減、国民は小泉マジックから覚醒しないと・・・

『コンプライアンス』

日本の企業は、一体いつから

法律違反も厭わない儲け本位になったのだろうか。企業の社会的責任は、企業を存続することによってその地域の雇用を確保し、経済的安定をもたらすこともその一つではあるが、地域社会の倫理的模範として存在するが故に、社会的信頼が確保されているのである。

どうもそれを勘違いし、企業の看板そのものに社会的信用があるかのごとく考えた輩がいる。そうした輩は看板さえ掲げれば少々の無法も何のその、会社が儲かればいい、自分の営業成績が上がればいいという発想から、もはや後戻りのできないところまで倫理的退廃をきたした。

社会不正を引き継いだ後継者はそれをひた隠しにして傷口を広げ、総会屋などの付け入る隙をつくったり、食中毒をおこしたり、交通事故を誘引したり、脱税をしたり、補助金を騙し取ったり、談合で事業費を水増ししたり……あく、もう考えたくもない！およそ考えられる不正のオンパレードである。

新聞報道などで明るみになっ

たのはほんの一部に過ぎない。日本の企業という企業が何らかの形で不正を働いていることは、もう隠しようがない。この状態を立て直すには何が必要か、国民一人一人がよく考えてみる必要あり。

『内部告発』

『コンプライアンス』と並んで、『内部告発』も大きな意味をもつ言葉となった。目先の利益を優先する企業にもはや過ちを修正する力はない。そんな中で、人間の尊厳をかけて内部告発した人も多かろう。企業人である前に人間であることを、彼らは選んだ。そのことに敬意を表したい。

しかし、そのあと、彼らには過酷な運命が待ち受けている。社会の造反者として、容赦ない仕返しを待ち受けているからだ。

もし当人の家族が社宅で暮らしていようものなら、子どもは間違いないじめられるだろう。子どもには何の罪もないのだが、一度パッシングが始まると、抑制というブレーキが効かず、当

人がその集団から離脱するまで続けられる。

それまで友人として、普通に接していた人が、一夜明けると、牙をむき出し、襲い掛かる。直接的な攻撃はもちろんであるが、本人以外の家族にも陰に陽に嫌がらせは続き、精神的に追い詰める。しかし、これで一体何が解決するのだろうか。

残された人々は、こうしたことで気が晴れるとでもいうのであろうか？ 残念ながら決して気は晴れず、心に大きな傷を残すに違いない。自らの人間性を破壊し、他人を信用できない心の病に、きつと沈んでいくのであろう。

『自己責任』

イラクの人質事件が日本人のヒステリックな感情的行動を見事に具現した。

『内部告発』者に対する仕返しでも触れたが、その容赦のなさ特徴的である。日本の空港に降り着いた3人に浴びせられた言葉は「身の程を知れ」「死んで誤れ」「国賊」である。インター

ネットには匿名の嫌がらせメールや誹謗中傷ばかりが集中し、アクセスが困難となったほどだ。一体何がこの様な陰気で陰險な行為に駆り立てたのか？

結局のところ、お上に盾つくな！ということなのだろう！政府の自作自演説が火をつけた中傷の嵐で、最も傷ついたのは「日本人の良心」ではなかったか。

『法人化』

世の中、法人化を「打ち出の小槌」のように誤解されているふしがある。

日本の「法人化」は、手本となった英国の「エイジェンシー」とは似ても似つかない、グロテスクなものになってしまった。

そもそも「法人化」とは、非営利公共事業が官僚や省庁の食い物となっているのを改めて、不要なものは廃止、同じようなものは統合、必要なものは独立性を高めて官僚や省庁のコントロールから解放し、経営責任を明確にして運営させることで、最終的には国民の利益につなが

る・・・はず・・・のものである。
しかし、私たちの名古屋大学を見てみよう。文部科学省からの天下りや出向は何人いるか？名大の職員のまま研修という名目で文科省に出向いている事務系職員は何人いるか。皆さんご存知???

法人化したからもう文科省の言うままにならなくてもいいと思っている人がいるとしたら、全くの幻想に過ぎないことはすでに法人化以前に準備段階で次々に明らかになった。

評価制度と運営費交付金が連動することや、一律1・2%の効率係数、天下りに研修出向・・・これでは今までより強い影響力で縛られているじゃあないですか。

結局、「法人化」とは大学の教職員を騙す甘言だったと理解する。

『三位一体改革』

サンミイッタイカイカク??何のことやらちつともわからない。

どうやら地方自治体への交付

金を減額することと、地方への権限委譲がセットになっているようなのだが、政府の説明は何度聞いても理解しがたい。

本場に国の財政をたて直そうとするならば、不必要な公共事業や不要不急の自衛隊予算を大幅に減額して歳出を抑えようと、社会保障や育児教育関連事業を大幅に改善して手厚くすれば、老後の心配や万が一の心配が減るので貯金を取り崩して個人消費が大幅に伸びるであろう。一人当たりの消費が伸びれば日本経済は自然に回復し、税収の回復、国債に頼る借金財政から脱却できる。

海外輸出は一部の産業に偏り、富の再分配、資金の還流が十分に進まない。一人当たりの消費が伸びるといふことは幅広く経済が堅調に推移することになり、景気回復感も強く、資金の還流もうまくいく。

米国のグリンズパンは日本の経済回復は内需の向上以外にないと言った。この場合の内需とは企業の設備投資ではなく、個人消費のことである。

『三位一体改革』の中身を見ると、財政状況の厳しい地方自治体が権限を委譲され、交付金の用途を限定しなれば、随分細くなつた社会保障や教育がさらに減らされて、住民にばかりしわ寄せが行くことになり、個人消費は益々冷え込んでしまう。

これでは財政改革どころか、雪だるま式に負債が大きくなり、債務超過に落ちいること請け合いです。

『骨太政策』

『骨太政策』って、公務員削減、教育の低コスト化、国民保険の徴収増額と給付額減額、特別減税廃止、消費税値上げ、酒税増税・・・。

どう考えても、スポンサーである企業増税はできないだろうから、日本の国家財政を建て直すには弱いものから取るしかない。大企業は国際競争力がなくなるので減税なんだよね、小泉君！だから・・・だから骨太なんだよ。いやいや、まてまて、これじゃまるで「悪太政策」じゃ

ない！ つまりが、日本破壊の悪夢のループが『三位一体改革』とみた。小泉の公約に「ぶつ壊す」というのがあったが、「骨太政策」と並んでこれなら日本経済をぶつ壊せそうだ。お見事！小泉！

あれ、たしか・・・自民党をぶつ壊すって言つてなかつたっけ??

『バカの壁』

養老猛氏の『バカの壁』は、人間の相互理解が進まないことの原因は相互が話す「同じ言葉」の「理解の差」であると指摘し、それは超えられない壁である、と指摘している。

果たして、米国も日本も、こと政治に関しては極めて悲観的な状況になっているが、これも養老流に言えば『バカの壁』であろう。もはや理屈が通用しない状況となり、集団ヒステリーか集団催眠を思わせる排外主義が行うようになった。

北朝鮮に経済制裁を要求する世論も以上のような状況をよく表していると思う。

照葉樹林の本場、宮崎

名古屋大学情報科学研究科 広木詔三

二〇〇四年がまもなく過ぎようとしている。今は十二月十二日、日曜日。明日の午前と四限目の授業の準備を終えたばかりだ。かけはしの原稿の締め切りもいつもより早く、明日の十三日までだという。

話は、十月二十九日にタイムスリップする。小牧空港を発つて、宮崎に向かう。宮崎市で開催される植生学会に出席するのだ。三十一日の日曜日に入っていた予定を何とかキャンセルして、学会への参加が可能になった。三十日の土曜日に、最も重要な講演が詰まっているのだ。三十日に名古屋に帰ると、その重要な講演の話が聞けないでしまうので、学会に行く意味がなくなってしまう。

この植生学会は比較的新しく発足した学会である。とは言っ

ても、学会が出来てかれこれ十年以上は経っている。私は、この学会に、毎年参加しているわけではない。私は、日本生態学会をメインに七つの学会に所属している。毎年、会費を払うのもたいへんである。

この植生学会に、今年はどうしても出席したい理由は、学会が宮崎で開催されるということと、本場の照葉樹林に関する情報が多く得られるからである。照葉樹林というのは、シイやカシのような葉が常緑の樹木からなる森林の名称である。

さて、空港で、旅客機に搭乗し、離陸して間もなく、機内アナウンスがあった。今日は宮崎市は天候が不順で、宮崎空港に着陸出来ない恐れもあり、着陸出来ない場合は、福岡空港か鹿児島空港に着陸するのでご了承承下

さい、というのである。二十九日の晩に、福岡に着陸して、福岡市内に宿泊したら、次の三十日の大事な講演が聞けないではないか。鹿児島だつても不便だ。この間、台風が発生していないので、安心していただけなのに、何ということだ。

宮崎に近づくとつれて、雲が多くなり、飛行機が下降すると雲の下に出た。当然、雨が降っている。でも、無事、機体は宮崎空港に着陸した。これまでは、飛行機が墜落しないことに神経を尖らせていたが、今回はただひたすら宮崎空港に着陸出来たすうに、と念じるばかりであった。

宮崎空港からはJR鉄道が接続していて便利であった。名古屋からの参加は多くないよう、客の少ない列車は雨の中を宮崎市街に向かった。

宮崎駅を出ると、雨の吹きさらばバス停で、長いこと待たされた。バスを降りてからも宿までは横殴りの雨の中をかなり歩かせられた。

ホテルマリックスは、翌日の

懇親会の会場にもなっていて、その点は都合がよい。翌日、つまりお目当ての三十日の日のことだが、ホテルから宮崎大学まで直行するバスを出すという。それが何と朝の七時半に出発するというのだ。私は朝早く起きるのが苦手で、それでは朝食も取れないではないか。

発表の講演題目を見ると、重要な講演は幸い午後が集まっている。雨の中、ホテルマリックスを出て、すぐ横町に入ると、何と繁華街になっている。宮崎駅周辺がともさびれているのとは対照的である。とある居酒屋に入ると、何とサンマの刺身がメニューにあるではないか。八月の釧路で食べたサンマの刺身の味が格別だったことを思い出した。九州は焼酎の本場で、焼酎しかないのかと思いきや、ビールは当然あるという。釧路では寿司屋だったが、宮崎では小さな店ではあったが、洒落れた店で、同じサンマの刺身の味でも、料理の手の入れ方で、また違った味わいを味わうことが出来た。

三十日の朝、私は比較的ゆつくり起きて、ホテルのバイキングの朝食を取り、宮崎駅まで出て、宮崎大学行きのバスに乗る。かなりの距離があり、一時間近く掛かった。バスが郊外に出ると、さすが本場だけあって、建築物のまわりを取り巻く植物は見るものほとんどすべてが常緑広葉樹である。途中にかなり背の高いヤシの並木にも出会う。終点の宮崎大学に着くと、まだ雨が降っている。宮崎大学は農学部と教育学部からなるこじんまりした大学で、キャンパスも狭い。最近、宮崎医科大学と統合して、医科大系の学長が大学を牛耳って、未が思いやられるという噂を聞いた。

いくつかの学会発表を聞いてわかったことだが、九州南部、つまり鹿児島や宮崎でも落葉広葉樹は結構分布するということだ。森林の伐採後や、台風による攪乱の後や、さらには谷間に落葉樹が発生するそうだ。攪乱後に出現する落葉樹は何も九州に限らず、例えばカラスザンショウ

や東山丘陵にも分布するアカメガシワなどは森林の林床の土壌中に種子が散布されていて、森林が伐採されて陽の光が入ると、種子が発芽してすばやく成長することはすでに知られている事実である。地上を覆っている樹木が取り除かれ、太陽の光が地中に届くと、地温が上がり、それまで眠っていた種子が発芽するのである。競争相手が除去される、のびのびと成長できることを、あたかも知っているかのようなのである。

重要な発表は二つあった。イチイガシや主に九州のみに分布するハナガガシを含めたカシ類の分布と生態的特性に関するものがその一つである。シラカシやアラカシ等の本州にも多いカシ類については私のこれまでの推測が間違っていないことを裏付けてくれた。もう一つは、イスノキとシイ類やタブノキの分布に関してである。

九州でも福岡のように冬に雪が降り、気候的には名古屋とそう変わらない地域と違って、鹿

児島や宮崎はより温暖で、イスノキが最も優占するということである。実は、わずかながら、そのような情報は存在していたので、やはりということを現地で感じとったという点が非常に重要である。本州で優勢なスダジイやツブラジイは九州ではマイナーなのである。

最終日は、宮崎市のはずれにある綾という町にある宮崎大学の演習林を見学するエクスカーションが組まれていた。だが、私は申し込みが遅れて参加することが出来なかった。その翌日には二限目の授業があるから、早めに帰るつもりで、エクスカーションには参加するつもりはもととなかった。どのような場合でも、現場を見ることは重要であるが、上記の二つの発表で、理論的に理解できたので、現場を見る必要性は感じなかった。

三十日の夜にホテルマリックスでの懇親会の際に、エクスカーション現場のスライド映写が行われ、もう現場を見た気分にもなった。さらに、解説を聞く

と、九州全体で、過去に森林伐採が過度に行われたこともわかった。

三十一日、十時過ぎにゆつくりとチエツクアウトし、昼過ぎまでさびれた街をぶらつき、お茶を飲み、空港に向かった。豊橋の高校の先生をしている中西さんがエクスカーションから戻り、空港で出会った。雨の中を歩いてたいへんだったそうだ。

新潮文庫の『海ちゃん』という猫を子供と一緒に育てた本を空港の売店で買い込んだ。子供が猫を嫉妬する話があったりして、たいへん面白く、航空機の中であることを忘れるほどであった。作者は岩合（いわい）夫婦で、奥さんの日出子さんが海という猫を育て、カメラマンの光昭さんが写真を撮影したものだ。

とにかく多忙なご時世に、このような雑文を書くのは何度やめようかと思ったりもしましたが、とにかく百回までは続けようと思つて頑張っています。また新たな年を迎えましたが、これからもよろしくお願い申し上げます。

単語の定義

言葉を研究対象にしていきますと、どうしても「語」とは何かということが大いに気に掛かります。私は、語彙論的研究に関わっておりますので、どうしても「語」を勘定するということがいつも関心のなります。とにかく、何かを勘定するにはその単位がはつきりしていることが第一の条件になります。単位があやふやでは勘定ということは成り立ちません。

なことは希有のことです。ですから、私は学生によく言います。世界にいくつくらい言語があるかと言うことが良く議論になり、学者によつては、二七九六などという確定的な数を示す人から、六五〇〇言語という人、其れが、百年前には一五〇〇言語有つたとか、いろいろの数字が出されます。日本において行われている言語(方言ではありません)は幾つかという間にさえ、随分いろいろな数が答えられます。勿論、一時的にいる外国人の言葉や、完全に日本人には関わりが無いような言語を除いてさえず。

がはつきり決まっていなからです。言語と言わなくても、単語の数さえ似たような状況で、単語の定義は言語学者の数ほど有るとさえ言われます。勿論誇張で、それほどバラエティーに富むと言うことです。しかし、そんなことを言っているのは言葉の数が基本になる語彙論においては始まりません。これを無定義元素と言つて議論を避ける人もいます。しかし、それでは問題は解決しません。しなくてもいいと言つてすましてもおれません。

言葉になるといふぎりぎりの限界というものがありません。それは、国語学の用語で言えば「文節」という単位です。この単位は、国語学・日本語学の世界では余り評判が良くないこと知っています。しかし、それは一部の批判を無批判に受け入れたものです。確かに、これに対する批判の中に、いわゆる付属語が独立しているように見えることがあります。それは特殊なケースで、むしろ、その付属語の語源的性格を示しているのです。こういう、特殊な例でもって、全体を否定するのはどうかと思います。全てに当てはまるようなことはむしろ稀なことではないでしょうか。稀な例でもって全体を規定することは出来ません。大多数のことが割り切れればそれ

で充分用をなします。それ以上は哲学者か、議論好きの方にお任せしましょう。

単語の定義もこの伝で行けば、日本語に限らず、言語の本質としての音声言語においては、必ず一続きで言う、それ以上区切っては発音しないということを目安にして考えていけばいいのではないかと思えます。それが、丁度「文節」に当たるのです。その文節には「自立語」が必ず一個含まれます。その他にもいわゆる付属語が一

つ以上付いていることがあります。付属語の研究は盛んです。この文節から、付属語と自立語を分離していけば、単語の定義も自ずから出来るのではないかと楽観しております。

そして、自立語だけでなく、付属語もれっきとした語彙の要素であることを肝に銘じておきたいと思えます。特に、「付属語」を「意味のない」ものとして語彙の中にすら入れない考えがありますが、それはとうてい受け入れられることの出来ないことです。

(T)

返事をしよ

もう少し古い話になった。昨年、5月のこと、名古屋大学で名誉教授称号授与式ということがあった。名誉教授に任命される方

が数十人集まった。式が始まった。任命される方が一人一人呼ばれ総長に名誉教授の章を頂く。その時感じた。

正確に数えていたわけではな

い。名前を呼ばれて返事をする人しない人、私と皆同じ年齢の方々ばかりの筈だ。今まで、呼ばれて返事をしないのは、我々はちがう年代の人だと思っていた。ところがそうでもなかった。自分がその中にいるので言うのも面はゆいが、恐らくは最高のレベルの人たちだと思う。ところが、呼ばれて返事をするといった全く基本的なところで必ずしもなかなか一致しないのである。

前から、いろいろなところで名前を呼ばれて返事をしないのは、我々より後の世代の人々で、その人達に育てられた子供達が、親の嘆きにかかわらず、返事をしないのは当然だと思っていた。親の姿を見て育つというのは確かにそうだと思うから。

しかし、このときの光景を見て、呼ばれて返事をするという全く人間として基本的な礼儀だと思ふことを(私はそう思うのだが、異論も多いと思う、その異

論についても私には異論がある)この最高の知性だと思ふ人々が必ずしも備えていないことは、私にとって一つの驚きであったと同時に、一つの発見であった。しかし、必ずしも嬉しい発見でなく、うすうす感じていた情けないことの再確認であった。

多寡が、返事一つという事なかれ。全てがこの一事に集中して顕現するのだ。

こういったことは、手紙とか、いろいろの通信に対する返事という事とも相通じる。決して、手紙も、メールの通信にも返事をしない人がいる。こまめに返事をする人もいる。全てはその人間性に由来する。必ずしも返事をするのが良く、返事がしないのが良くないとは決めつけることが出来なのが難しいところなのだけども。

(T)



APECCの喧騒（サンチャゴ市内にて）

全学技術センター 河合利秀

僕は丁度APEC開催の直前、NANTEN—2電波望遠鏡をアタカマ高原にて組立て作業を終了し、金工室の実習に間に合わせるべく、帰途でサンチャゴに滞在した。

しかし、APECの物々しい警戒により、思いがけない事態に遭遇した。

やっぱりチリ＝アタカマは遠い。日本に帰るまでの道のりを簡単に紹介すると、

アタカマからカラマ空港まで車で行き、カラマからサンチャゴ空港まで2時間、サンチャゴ市内で一泊（市内まで1時間）、次の朝サンチャゴ朝空港から国際線でサンパウロまで4時間、サンパウロ空港で7時間、サンパウロからロスアンゼルスまで12時間、ロスでの待ち時間が3時間、ロスから成田まで14時間、

成田で4時間、成田から小牧まで1時間、小牧から家まで1時間。

僕は乗り物の中で一睡もできない体質なので、途中サンチャゴ市内のホテルで眠れるのはありがたい。そんな唯一の安らぎのようなサンチャゴが、APECの喧騒によつて騒然となつており、眠れなかつた。

そもそも嚴重な警戒が必要な状況こそ、先進国首脳陣が如何に間違つてゐるかを表していると思ふのだが……。

|||||

11月16日カラマからサンチャゴに戻つたのだが、予想してゐた通り、サンチャゴ市内はAPECの警備であちらこちらに警察と軍隊が検問所を設けていて、渋滞ができてゐる。タクシーは車の洪水を縫うよ

うに走り抜け、意外にも早い時間にホテルに着いたが、渋滞をいいことに、いつもより大目の料金を取られた。首尾よくホテルに着いたのはいいが、夕食を近くの日本食レストランでとろうとして、喧騒に巻きこまれた。

僕は職人の手作業が好きである。カウンター席は職人の手捌きが覗けて、結構わくわくする。この店も例外に漏れず、いつも座る寿司カウンターで、大将の寿司を握る手際のよさを楽しむ。寿司は職人の「キップ」も味のうちである。威勢のいい掛け声や所作も、余裕があつて生まれるもの。

今回も、大将のキップと気配りにひたろうとレストランを訪れたのだ。

しかし、いつもとは違う。この日本食レストランは大賑わいを通り越して、半ばパニック状態といえるほどの込みようだったのだ。

そもそも、入り口からして大変だ。

いつもはひっそりとしてゐるはずの玄関横に、数台の黒塗り乗用車が止まつてゐる。大使館の職員らしい人物数名、軍隊から派遣されたボディガードが数名、それに新聞記者の車、それにも同様の護衛……合計15〜6人もいたであろうか。これでは事情を知らない一般客は二の足を踏むであろう。

このままの状態なら営業妨害だが、サンチャゴの街中全部がこの状態なのだから仕方がないのか。

僕がサンチャゴ市内で安心して食べられる（味じゃなくて雰囲気、顔見知りになつたことも大きい）お店はここしかないの、選択の余地はない。

こんな喧騒では、美味い寿司にはならない。それを十分承知してゐるのだろう。大将は今日の忙しさを「すまんねー！」と一言。

「大丈夫、ゆつくりやつてゐるから……」



しかし、そのあとの会話が続かない。

上ににぎり寿司とビール2本で1万ペソ。日本円で20000円だから格安なのだが、チリの物価事情から考えると高価である。

いつもは、お金持ち層を中心とした固定客と、日本から来ている商社の駐在員などが集まり、ちよつとした社交場として繁盛している。

チリ社会の日本関係情報を得るのもここが一番早い。ここの大將は僕たちの望遠鏡建設を影ながら応援してくれているのだ。

そのおかげで、望遠鏡建設に協力してくれる有力企業や個人を獲得することができる。この日本食レストランの果たしている役割は大きいのである。

今後ともよろしくお願ひします！と最敬礼し、日本食レストランを出ると、入り口にいた護衛や黒塗り乗用車の姿はすでになく、静かな歩道に戻っていた。しかし、いつもと違う緊張感

は、自動小銃を抱えた兵士がすぐ近くのホテルの前に立っているせいだ。

ホテルの部屋に戻ってテレビニュースを見ると、APECに集まる各国首脳人にメッセージを届けようとデモ行進する市民運動グループの映像が飛び込んできた。

すると部屋の外では、どこからか救急車やパトカーのサイレンらしきものが窓越しに聞こえてくる。録画したであろう映像から聞こえるサイレンの音と、窓のそこから聞こえるサイレンの音が入り混じり、妙に現実的な時間と空間を作り出している。

旅行中という緊張感が解けず、眠れないまま、朝を向かえてしまった。

僕は一泊だけでうんざりだったが、この喧騒をサンチャゴの人々はどう思ったのだろうか？

(2004年11月17日記)

教職員委員会活動日誌 (2004年11・12月)

月 日	事 項	場 所
11月 1日(月)	11月度第1回教職員委員会	IBカフェ
3日(水)	久居榑原風力発電施設の見学	三重県青山高原
5日(土)	第6回地域部会	東海会館
6日(日)	東海地域センター理事会	東海会館
9日(火)	賃金制度プロジェクト	ゆ〜どん
10日(水)	新学期プロジェクト	ゆ〜どん
11日(木)	11月度常任理事会	ゆ〜どん
13日(土)	全国理事会	東京・杉並
14日(日)	全国教職員委員会	東京・杉並
15日(日)	11月度第2回教職員委員会	IBカフェ
23日(火)	Fエース生協りんごの産地見学	長野県松川町
24日(水)	新学期プロジェクト	ゆ〜どん
25日(木)	11月度理事会	フレンドリィ南部
27日(土)	地域センター拡大理事長会議	東海会館
11月 11日(木)	11月度常任理事会	ゆ〜どん
12月 1日(水)	名古屋大学・生協懇談会	グリーンサロン東山
2日(木)	12月度常任理事会	ゆ〜どん
3日(金)	第17回音としゃべりの金曜サロン 『初冬のクラシカル・コンサート』	フレンドリィ南部
6日(月)	12月度第1回教職員委員会	IBカフェ
7日(火)	賃金制度プロジェクト	ゆ〜どん
7日~10日	北部生協まつり	北部厚生会館周辺
11日~12日	大学生協連全国総会	幕張メッセ
15日(水)	新学期プロジェクト	ゆ〜どん
16日(木)	12月度理事会	フレンドリィ南部
20日(月)	教職員委員会忘年会	しんちゃん今池店
22日(水)	新学期プロジェクト	ゆ〜どん

11・12月号 の感想

工場見学記が面白かった
★ハラダ製茶工場見学記が面白かった。
【やまかわ】

産地見学是非行きたい
★リンゴの産地見学には非行きたいと思った。しかし、その日は空いていないと思う。
【河口亜沙美】

生協の進み方がよく分かった
★今回、かけはしを初めて拝見いたしました。内容で特に良かったのは生協総代・組合員懇談会報告の内容でした。名古屋大学内での生協の今後について多くのことが討論されているのに驚き、中には普段から僕も生協に対して感じている内容もあり、今後の生協の進み方がよくわかる記事だったと思います。
【kuro】

菅直人なみの馬鹿発言

★ニュースに一喝電波受信しすぎ。安全保障理事会中国の反日感情は教育のせいです。日本の悪業ってなんですか？ 南京事件のようなおとぎ話ですか？

北朝鮮のような敵対国家と友好って何を間抜けなことを。憲法9条の改悪とは？ 誰が悪と決めるのですか？ あなたですか？ 天の意思天変地異を為政者のせいにするなど、あなたいつの時代の人ですか？ 菅直人なみの馬鹿発言。
【谷口貴紀】

分かりやすさ一番で

★ニュースに一喝！を楽しみにしています。今後も分かりやすさ一番でお願いします。
【マユコ】

ちょっと注意が必要

★魔言。掃除の話おもしろく読ませていただきました。国によつて考え方が大きく違うんだなあと思いました。韓国に行くときには、ちょっと注意が必要ですね。
【チロ】

かの国では当たり前なのかも

★魔言の韓国のホテルでは宿泊中に掃除やシーツの取替えをしてくれないという話、私は韓国に行った事がないので本当のところは分かりませんが、かの国ではそれが当たり前なのかもしれない、旅行者が従業員に対して日本国内のホテル並みの待遇を求めて抗議すると言うのは失礼な気がしました。
【だるまおとし】

掃除の考え方の違いに驚き

★魔言の「掃除」を読みました。が、近隣国でもこのように掃除に対する考え方が異なっていることに驚きました。
【BOOK】

生協祭りに期待!!

★北部生協祭り、かなり期待!!
ことしこそ、たのむよー!!
【もう少しでキングカズ】

内容が少ない気がした

★今回は内容が少なかつた気がします。寒くなりましたし健康法の特集なんかやりませんか？
【えすばあ】

皆勤賞を狙っていたが・

★皆勤賞を狙っていたのですが、前回の回答を送り忘れてしまいました。でもまだ一度も商品が当選していません。
【藤木謙一】

東海会館ってどんな利益が?

★大学生協東海会館という建物が完成したという報告がありました。文章を読んでどういう目的で建設され、どこの所有で、誰が何に利用しているのかよくわかりませんでした。名古屋大学の生協組合員にとつてどのような利益があるのでしょうか?
【BIBI】

▼大学生協東海会館が竣工したという前号の記事は、読者の関心に十分応えられない内容だったようですね。質問にお答えします。

【どこの所有か】名大生協も加入している愛知・岐阜・三重・静岡の合わせて21の大学生協、組合員総数十一万四千五百八十四人(2003年度)で構成する大学生協東海事業連合(会長:可児島俊雄名大名誉教授)の所有です。

【何の目的で建設され、誰が何に利用しているのか】東海事業連合は、各大学生協食堂で提供する食材の共同仕入れ、文房具やコンピュータな

どの共同仕入れを行い、各大学生協にかわって約300社と直接取引をしています。事業連合は東海の共同の力で安心・安全で組合員の声を生かした商品を提供するように努力しています。東海会館は、こうした事業連合の事務所として利用しています。

また、東海地域の組合員の活動交流、組合員の声を中央に届ける、生協のない大学で生協設立を支援などの活動をすすめる大学生協連東海地域センターの事務所にも使用されています。地階の会議室は、東海の大學生協の仲間が会議や会食などで交流できる広さがあります。

現在、大学生協連東海地域センターは、2005年の6月を目前に、愛知インターカレッジコープ（生協のない大学の構成員を対象に、大学を超えた一つの生協）の設立をめざしています。この活動の拠点にもなっています。

【名大生協組合員にとってどのような利益があるか】

東海会館という活動拠点が出来たことで、東海事業連合と大学生協東海地域センターの活動が発展すること、名大生協にとっても大いに利益になると考えています。

【柴田東海地域センター副会長】

今時の若いモンは・・・

★クイズのヒントはわかりませんでした。林檎か柿か？ と思ってネットで調べたら出てきたけど・・・。広木先生のワールドノート興味深く読ませて頂きました。学生の講義中の居眠り、化粧、携帯、飲食。自分にも反省すべき点があったのはさておき、私にも学生の質がどんどん悪くなっているのを感じるできことがありました。先日TAで3学年下の講義に出たのですが、先生が前に出てきても、背中を向けて後ろの友人とおしゃべり続け挙げ句の果てにマンガの貸し借り。これにはあきれ果てました。大人たちが「今時の若いモンは・・・」といったくなる気持ちわかります。【くじら】

意見と通信

各学部の様子が知りたい

★各学部の詳しい様子。特に理系研究室 【やまかわ】

お買い得情報が良かった

★生協のお買い得情報など知りたいと思つたが、載つていたのが良かった。【河口亜沙美】

いろんな方のインタビューを

★研究科長のインタビューが今月号にはなかったのが残念。今後も研究科長に限らず、色々な方のインタビューを掲載していただきたいです【だるまおとし】

リユース市に参加したい

★来年卒業予定で、間もなく組合員でなくなりそうです。組合員最後の行事としてリユース市に参加したいと思つています。毎年開かれているリユース市が今年も開かれるのでしょうか？ 特卒に卒業後の引越場所が遠いので早めを知ることができるとうれいす。またこれまでのリユース市の具体的な様子なども知りたいと思います。【kuro】

▼リユース市は学生の学内団体ソングオプアースが毎年行つています。詳しい情報は <http://www2.jimu.nagoya-u.ac.jp/soe/> にあります。【箕浦常務理事】

理系コンビニの営業延長を

★理系コンビニの営業時間をもう少し遅く（22時くらい）までしてほしいです。【Book】

▼大学院生の増加にともない営業時間延長の要求は年々強くなつています。22時までの営業を来年度の経営体制の中で検討していきたいと思つています。【箕浦常務理事】

土日に食堂が開いていると

★生協に対する希望は、土曜日の夜も食堂が開いていると、土日も学校に来ている理系学生にとってはたいへんアリガタイ話です。理系コンビニだけでも土日空いてるとかなり嬉しいです。【うしやぎちゃん】

▼ご意見ありがとうございます。理系ショップは現在平日午前8時から午後9時まで、土曜は午前10時から午後4時まで営業しています。毎年利用も増えており、営業時間についても見直しの検討をすすめています。当面土曜日の営業時間を18時まで延長することを2005年初めから考えています。日曜につきましては当面営業は経営面等を考えて難しいと判断しています。【波多野購買部長】

か け は

意見と通信 2

就職活動についてどう思う？

★今年も就職活動シーズンがやってきました。私の周囲でもちらほら学校を休む人がいます。教職員は、学生の就職活動についてどう思っているのか知りたいです。また現代の学生の事情も掲載して頂けると、学生と職員の距離が縮まるかなと思います。期待しています。【くじら】

冊子をPDFで配布したら

★環境問題も考え、冊子をpdfにして配布したらどうでしょう。【もう少しでキングガズ】

▼ご意見ありがとうございます。ご意見の趣旨は理解できますが、PDFファイルをどれだけの人が読んでもくださるでしょうか。私たちの活動や見解を組合員にお知らせしたい希望とその効果を考えると、現在のB5の冊子での発行を続けたいと考えています。ご理解ください。【柴田「かけはし」編集長】

レジ袋を半透明に

★生協のレジ袋はなぜ白なのでしょうか？ 透明なら今のところ資源ゴミを入れるための袋（家庭で）に使えるけど、不透明だとそういった利用もできず捨てるしかない（プラゴミ？ 可燃ゴミ？）。巷のスーパーみたい指定ゴミ袋にしろとまでは言わないから、せめて半透明にしてほしい。【ナンバー6】

▼ご意見ありがとうございます。レジ袋は一枚あたりのコストを軽くするために全国の大学生協でまとめて開発しています。以前は不透明、半透明の2種類扱っていましたが、しかし、2種類（6パターン）を扱う際、保管場所のスペース確保やまとめることで更にコストを削減させることなどを考えて1種類（3パターン）にしました。各地域で希望を集めたところ、不透明の要望が高く現在に至っています。不透明の要望が高かった理由は購入した商品が見えないためということでした。【波多野購買部長】

12月度理事会報告

12月16日フレンドドリイ南部ホールにおいて12月度理事会が出席理事20名、オブザーバー9名の参加で開催された。以下議事の内容を記す。

【報告事項】

- (1) 11月供給結果と決算そして年度末見込みに関して
- (2) マイバック運動の今後の取り組み

・スタンプカードに組合員番号を記入する欄をつくる。
・1月11日より再スタートする。

(3) 組織委員会報告

・学生委員会（新入生歓迎活動の取り組み状況、めぐでいあ発行計画、各班活動の状況、全国総会に参加した感想報告）
・院生委員会（新学期活動の取り組み状況、全国総会の感想）
・留学生委員会（委員長の交代、委員会合宿、生協まつりでのタピオカ入りミルクティの販売報告）
・教職員委員会（金曜サロンの報告、生協まつり企画報告、かけは

し発行計画、平和憲章企画の取り組み状況）
・WILL（CEセミナー&クリスマスパーティの取り組み状況）
(4) その他

- ①「かけはし」研究科長インタビューに関して
- ②生協祭りの取り組み結果に関して

【決定及び協議審議事項】

- (1) 理系ショップ営業時間延長に関して

・廃止する商品についてはその理由を事前に説明することが必要
・利用が伸びたものについて

- (2) 11月29日～30日就職ジョブセッション開催結果と大学及び全学同窓会への報告
- (1) 北部購買改装アンケート分析と今後に関して

- (2) インカレ愛知設立に向けて05年6月設立めざし取り組みをすすめることを確認した

- (3) 大学の変化と今後の対応に関して

12月1日大学（副総長）との懇談会報告など

名大生協



「かけはし」編集委員会行

.....山.....折.....り.....

○氏 名 _____ 組合員証番号 _____

○所 属 _____ 研究科 _____ 専攻・課 _____
学部 _____ 学科・掛 (教職員・院生)
センター _____

○連絡先 _____ 内線 _____

○誌上匿名希望の方はペンネーム _____

.....山.....折.....り.....

①平和憲章 18 周年記念講演会 【2月2日(水)】

②初心・初級スキー教室 【2月10～13日】

参加申込用紙

番号	氏 名	所 属	内 線	年 齢	組合員証番号

②スキー教室参加は保険の関係で年齢が必要ですので必ずご記入ください。

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 257 号

クイズのこたえ _____

☆ 今月号を
読んだ感想

☆ 記事にしてほしいこと。生協へのご意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOPクイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をみれなく記入してください。

名古屋大学平和憲章 (1987.2.5制定)

わが国は、軍国主義とファシズムによる侵略戦争への反省と、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害をはじめとする悲惨な体験から、戦争と戦力を放棄し、平和のうちに生存する権利を確認して、日本国憲法を制定した。

わが国の大学は、過去の侵略戦争において、戦争を科学的な見地から批判し続けることができなかった。むしろ大学は、戦争を肯定する学問を生みだし、軍事技術の開発にも深くかかわり、さらに、多くの学生を戦場に送りだした。こうした過去への反省から、戦後、大学は、「真理と平和を希求する人間の育成」を教育の基本とし、戦争遂行に加担するというあやまちを二度とくりかえさない決意をかためてきた。

しかし、今日、核軍拡競争は際限なく続けられ、核戦争の危険性が一層高まり、その結果、人類は共滅の危機を迎えている。核兵器をはじめとする非人道的兵器のすみやかな廃絶と全般的な軍縮の推進は、人類共通の課題である。

加えて、節度を欠いた生産活動によって資源が浪費され、地球的規模での環境破壊や資源の涸渇が問題となっている。しかも、この地球上において、いまなお多くの人々が深刻な飢餓と貧困にさらされており、地域のおよび社会的な不平等も拡大している。「物質的な豊かさ」をそなえるようになったわが国でも、その反面の「心の貧しさ」に深い自戒と反省がせまられている。戦争のない、物質的にも精神的にも豊かで平和な社会の建設が、切に求められている。

今、人類がみずからの生み出したものによって絶滅するかもしれないという危機的状況に直面して、われわれ大学人は、過去への反省をもふまえて、いったい何をなすべきか、何をしうるか、鋭く問われている。

大学は、政治的権力や世俗的権威から独立して、人類の立場において学問に専心し、人間の精神と英知をになうことによってこそ、最高の学府をもってみずからを任じることができよう。人間を生かし、その未来をひらく可能性が、人間の精神と英知に求められるとすれば、大学は、平和の創造の場として、また人類の未来をきりひらく場として、その任務をすすんで負わなければならない。

われわれは、世界の平和と人類の福祉を志向する学問研究に従い、主体的に学び、平和な社会の建設に貢献する有能な働き手となることをめざす。

名古屋大学は、自由闊達で清新な学風、大学の管理運営への全構成員の自覚的参加と自治、各学問分野の協力と調和ある発展への志向という誇るべき伝統を築いてきた。このようなすぐれた伝統を継承し、発展させるとともに、大学の社会的責任を深く自覚し、平和の創造に貢献する大学をめざして、ここに名古屋大学平和憲章を全構成員の名において制定する。(前文より)

名古屋大学消費生活協同組合

☎ <052>781-1111 (内線7540)

- 書籍(和書・洋書・雑誌)に関するご相談は ●旅行(国内・海外)・宿泊に関するご相談は
北部書籍(内線7544) 南部書籍(内線7551) 北部旅行・サービスセンター(内線7543)
医学部書籍(内線5208)大幸書籍(内線5552) 南部旅行・サービスセンター(内線7550)
- 文具・事務用品に関するご相談は 医学部旅行・サービスセンター(内線5213)
北部購買(内線7542) 南部購買(内線7549) ●印刷とネットワークに関するご相談は
医学部購買(内線5209)大幸購買(内線5552) 印刷・情報サービス部(内線7552)
農学部購買(内線7557) ●パーティー料理・弁当に関するご相談は
●レストラン「花の木」(内線7605) 弁当部(内線7553) 理系食堂(内線7555)